

# 文化プログラム

ぶんかぶろぐらむ

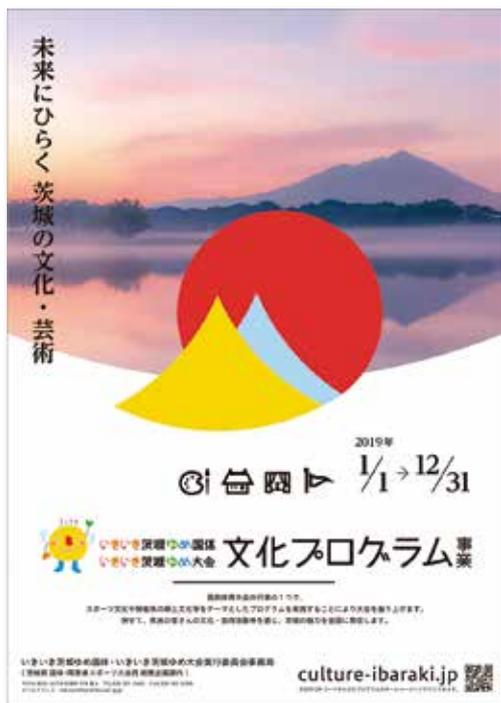
ロゴタイプ

## 文化プログラム事業

ロゴマーク



ポスター



■参加プログラム数

茨城県の郷土文化やスポーツに関連する文化・芸術：414事業

■実施期間 2019年1月1日～12月31日

ホームページ



パンフレット



文化プログラムは、スポーツと併せて多くの県民が文化・芸術活動を通じて両大会に参加することにより開催機運を高めるとともに、県民一人ひとりが地域の魅力を再認識し、また、来県者とのふれあいを大切にしたおもてなしをすることにより、魅力ある“いばらき”を全国に発信する機会とすることを目的に実施した。



### 全国スポーツ写真展



### リボン・アートボール展 (当実行委員会主催)



### ■県立施設における文化プログラム

#### 天心記念五浦美術館



#### 自然博物館



#### 県立歴史館



#### 陶芸美術館



#### 霞ヶ浦環境科学センター



# 全国都道府県対抗eスポーツ選手権

ぜんこくとどうふけんたいこういーすぽーつせんしゅけん

共同記者発表（2018年9月4日 会場：JFAハウス）



左から、岡村秀樹 JeSU 会長、大井川和彦茨城県知事、田嶋幸三 JFA 会長

## ロゴマーク



2018年5月、茨城県と一般社団法人日本eスポーツ連合は、第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）の開催に合わせ、全国初の試みとなる47都道府県対抗によるeスポーツ大会の開催を発表。同年9月には、公益財団法人日本サッカー協会が、ウイニングイレブン部門の主催に加わる。同年12月には、グランツーリスモSPORTとぶよぶよeスポーツを追加し、3タイトルでの大会実施が決定した。2019年3月からは、全国各地で3タイトルの都道府県代表の座をかけた熱いバトルが繰り広げられ、その参加総数は、約15,000人に上った。

## 茨城県予選（代表決定戦）



ウイニングイレブン部門の茨城第一代表決定戦（会場アダストリアみとアリーナ）



茨城第二代表決定戦の水戸地区予選では、プロジェクションマッピングが実現

## 組み合わせ抽選会



東京ゲームショウ（会場：幕張メッセ）で行われた本大会の組み合わせ抽選会

国内最大級のスポーツの祭典「国体」を45年ぶりに茨城県で開催するにあたり、この「全国都道府県対抗eスポーツ選手権」は、普段スポーツをされない方やスポーツに興味のない方などにも参加していただけるよう、より開かれた大会となるようにと試みた“チャレンジング”な企画であった。多くの協力者のもと実現したこの前例のない取り組みは、各メディアをはじめ全国から多くの注目を集めることとなった。

本大会（2019年10月5日～6日 会場：つくば国際会議場 来場者：約2,500人）

3タイトルの各都道府県代表のチーム・選手（約600名）が、決戦の地「茨城」に集結。



主催者あいさつ



来賓の方々



承子女王殿下がご観覧（10月5日）





## 各タイトルの対戦

eFootball ウィニングイレブン 2020



グランツーリスモSPORT



ぶよぶよeスポーツ



イメージキャラクターと本大会の総合MCを担当した茨城県公認Vtuber「茨ひより」



2日間の熱戦を終えて、ウィニングイレブン部門で成績上位を占めた茨城県チームが総合優勝を果たし、栄えある初代「eスポーツ日本一」の称号を手にした。